

タイ日食レポート

O.H(1967/観望)

以下の文章はOB会機関紙「星座」か何か（忘れました！）に書いたのですが、その転載です。

「タイ日食はしりが記」

当初、家族の反対からこのツアーに参加できるかどうか危ぶんでいたのですが、旅行企画者がTGH S天文部の卒業生であり、タイ国情報に関しては私の知人の明星学苑のI先生及び奥さんのSさんに負うところ大という訳で、何とか私のかみさんを完全に説得するのに成功したのが夏頃。そんなこんなで、とにかく今回は準備不足の日食旅行になってしまいました。

しかし一応報告書にもなるかと思いますので、とりあえず観測報告を。

観測地はナコンサワン大学（前記Sさんの母校）、
観測機材はMEスーパーに300mm望遠（F4.5を5.6で使用）
+2倍テレプラスで三脚+雲台+微動付雲台、
フィルムはフジスーパーG（IS0400）、
観測目的は今はやりの画像処理によるコロナの微細構造研究というもの。上記目的達成の為、1/500～1秒露出まで15枚程の撮影をしました。



しかし、やっぱり日食、あの興奮と緊張、なかなか思い通りの撮影という訳にはいきませんで、カメラのブレが目立ちます。そこそこの鑑賞には耐えられるのですが、強拡大

時にはやはり目についてしまいます。でもまあPhoto-shopなどを使って何とか処理をと考えています。

ところで、タイといえば王国、仏教国、ということぐらいは知っていたのですが、事前勉強をしなかった為、タイについての知識は殆ど皆無。ナコンサワンに向けて国道を北上中、バンコクから100Km位の辺りまで、海かと思うような大きな湖、大小の池とか水たまり、とにかく水が多い。さすがにメナム（チャオプラヤ）デルタ、大湿地帯なのかと思ったりしたのですが、これが何と13年ぶりの大洪水の跡と知ってびっくり。日本も車じゃなくてホバークラフトでも現地生産したほうがいいのではと思ったりしたのが恥ずかしい。その洪水の影響で、裸足での「暁の寺院」水浸し観光など若干の思い出もできましたが。

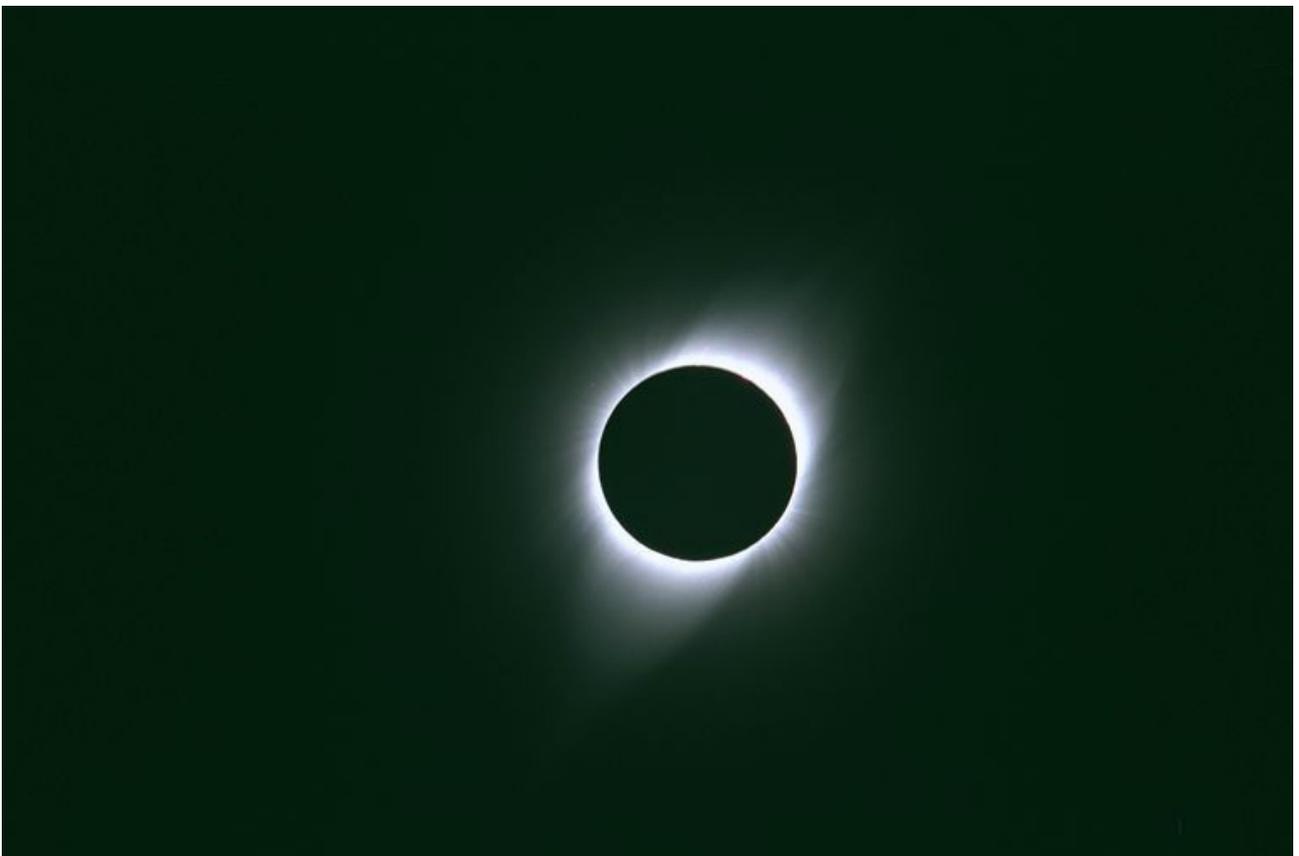
あともう一つ、食事はどうも好みにあいませんでした。あのドクダミのような香草だけは駄目でした。ビールもがまん飲んだのですが味は今一歩。というわけで、残念ながら「食」についても勉強不足か美味しいものにはめぐりあえませんでした。月並みな言い方で恐縮ですが、日「食」のほうはOKでしたが。

最後に、今回の日食行で一緒だったTGH S天文部卒業生のK.Uさんが急逝しました。過去、大学の卒業生とも合宿をしたりオーストラリアへハレー彗星を見に行ったりの親交もあったわけで、この場をお借りして御報告いたします。TGH S天文部卒業生会の事務局担当でこれからというときでした。残念です。

次ページの写真はおまけです。ホンのチョイ画像処理（RGB変更のみ）をしています。



撮影時刻：地方時 10 : 47 : 16 シャッター速度：1/250



撮影時刻：地方時 10 : 48 : 28 シャッター速度：1/15